

第5回御前崎市学校再編検討委員会 次第

日時 令和5年1月30日（月）午後1時30分～
場所 御前崎市役所 3階 301会議室

1 開 会

2 教育部長あいさつ

3 （1）令和4年度実施状況の報告（教育総務課長）

（2）今後の予定について（教育部長）

4 閉 会

令和 4 年度実施状況

日 程	行 事	参加人数
6 月 18 日 (土) 13 : 30~	御前崎市学校再編についての広聴会 池新田地区センター	19名
6 月 24 日 (金) 19 : 00~	文化会館	40名
7 月 9 日 (土) 13 : 30~	文化会館	19名
11 月 26 日 (土) 19 : 00~	「御前崎の中学校の未来を一緒に考えよう！」 市民ワークショップ 文化会館	19名
12 月 1 日 (木) 19 : 00~	文化会館	15名

「御前崎市学校再編についての広聴会」での意見

R4.6.18（土） 池新田地区センター 13:30～

参加者 19 名

- ・県内他市でも、学校再編問題が話題となっており、地域から学校が無くなってしまふのは地域に影を落とすことになる。しかし、現状をみると、御前崎市においても学校再編しなくてはならないと考えているのも理解できる。
- ・学校再編という問題は、すごく大きな問題なので検討委員に議員さんも入れる等、議会も一緒になって考えてもらいたい。

A 検討委員会は検討委員会として引き続きやっていきたい。また、今後は議会も含めて、進め方については相談をしながら進めていきたい。

- ・牧之原市の計画に伴い地頭方の子が相良の義務教育学校に離れていくが、白羽・御前崎で小中一貫校にしていくのか。例えば中学校を市内1つにして、浜岡中学校へ御前崎の方から通うにしても、相当な時間がかかると思う。これからいろいろなことが出てくると思うが、今分かっていることを伝えて欲しい。

A 白羽・御前崎どちらかの小学校を中学校にするとなると、白羽小学校・御前崎小学校どちらかの小学校が無くなってしまふ。それも含めて全く決まっていないので、いくつかの案を比較しながら検討していきたいと思う。まだこれから決めていくという段階。

ただはっきりしているのは、今の学校組合としての御前崎中学校は、2030年度を目途に地頭方小学校からの生徒が来なくなるので、その時点で無くなってしまふことは、はっきりしている。今後、それについての対応案を考えていく。

- ・このいろいろな計画について、子ども達にも意見を聴いているのか。

A 検討委員には、小さなお子さんをお持ちの保護者さんにも入っていただき意見をうかがった。今後保護者へのアンケートという形で行ってきたい。

・今後の学校再編スケジュールの中で進捗状況の報告を広報等で行ってもらいたい。
パブリックコメントの実施については、意見が寄せられやすいよう工夫して欲しい。

A 素案ができた段階で、各地区で説明会等の開催を考えている。
パブリックコメントについては、多くの意見をいただけるよう広報等を行いたい。

・まず学校再編を考えるならば、出発点として「御前崎市の教育がどうあるべきか」という所からであって、その中で環境の変化により学校再編も選択肢となるという話だと思う。牧之原市云々ということだけでなく御前崎市としてどうあるべきかという問題だ。浜岡中学校と御前崎中学校の教育環境の格差は歴然であり、御前崎地区の人たちの教育をどうするかということも考えていくべきだ。
学校再編計画については、「未来が見え、御前崎市の子ども達の教育をどうする」という大きな構えの中、深く考えて欲しい。

・見通しをもう少し具体的に示して欲しい。

A 皆さんの意見をいろいろな場面で聞きながら全てのことを決めていきたい。まず、素案の段階で整理をしていきたいと思う。

・私の居住するのは浜岡北小学校区で、人口がかなり減ってきているが、説明を聞くと、機械的に人数が減ったから合併・再編しようという話ではなかったので一安心した。人数が減ったから学校を無くすというようなことは、できるだけ避けて欲しい。他に、学童保育の問題、地域の中での部活動といった問題についても併せて考えて欲しい。

・旧町時代の悪しき浜岡中学校においては1町1中学校制であった。市になって2つの中学校が刺激し合っていることがいい効果を生んでいる。今後、子どもの数が少なくなっても、浜岡東小の子を御前崎地区の中学校へ行かせる等、1市2中学校制を維持してもらいたい。

A 最善の方法をこちらで検討していきたい。

・牧之原市では、小中一貫校で進んでいくとなっている。小中一貫校のメリットを教えてください。

A 9か年連続して運営していくため、教育課程を一貫して構成することができ中1ギャップの解消につながるのではないかと。また、学級数を安定的に確保することができ、きめ細やかな指導に繋げやすいのではないかと。と思う。

・御前崎市としては小中一貫校についてどのように考えているのか。

A 本市の現状では、小中一貫校というところまでは検討していない。

・友好都市の王滝村は、最近中学校が合併するまで、在校生数人という状態で中学校が存在していたとのこと。そういう自治体がある中、御前崎市はなぜ今、学校再編

なのか。

A 御前崎市の場合は、王滝村ほど人口は減っていないし、学校を統合するのかというところまでの話はできないと思う。子ども達にとってよい教育というものを皆さんと一緒に考えていきたい。

・生徒数学校数減少にかかる予算への影響はあるのか。

A 1校当たりの予算の枠付けは、これからも考えていない。

・御前崎中学校の人員のキャパシティはどれくらいか。同じく浜岡中学校のキャパシティはどれくらいか。学校ではなく学区の再編は考えているのか。

A 御前崎中学校は1学年5クラスくらいまで、1学級35人として525人くらい、浜岡中学校は1学年6クラスまでの計画で建てられている。学区の再編については、これからの検討事項の1つであるとは考えている。

・池新田高校再編の問題と今回のこの学校再編の話は関連があるのか。

A 県立高校の問題と市の小中学校の再編の問題は、関係無い。

・池新田高校がもし無くなるとすると、その敷地について、全体として有益な形で使用して欲しい。

・2030 年から、地頭方子ども達が相良の小中一貫校へ行くということでよいか。

A 2030 年度の開校目標ということで、牧之原市の学校再編計画に記載がある。

・資料8ページの表で、小学校児童数の予測最終年度と資料9ページの中学校生徒数の予測最終年度が違うのはなぜか。

A 小中学校共、現在出生している0歳児までの数字を基にしている。

・資料8.9ページの数字を見ると、R10以降に学校再編を考えているということによいか。

A 学校再編の時点は必ずしもではないが、色々な可能性や時点について、トータルで考えていきたい。

・学校再編計画は、牧之原市も作り、確かに他市も検討している。しかし理由は何か。それは大人の都合ではないか。最後の1人になるまで学校があってもいいのではないか。無理に統合する必要は無いと思う。それぞれの地区の伝統を守るのもよいのではないか。更に地域に開かれた学校にしていくべきでもあると思う。バス通学になるとコストがかかる。そういった情報も示すべきではないか。バス通学の子の体力は低いという意見もある。

・前の発言された方とは考え方が全く違ったので発言をさせてもらう。バス通学大いに結構。その先を見て、指導をし、学校再編計画を立てて欲しい。テレワーク・リモートの時代なのでそういった部分に重きをおいて考えて欲しい。私は、伝統だ何だということに囚われることのほうが親のエゴだと思う。

A 学校再編ありきで考えているわけではない。再編をするかどうかというところから考えている。ただ、御前崎中学校については、牧之原市の地頭方の子が抜けていくという中で、何らかの対応は考えておかなければならないと思っている。御前崎中学校に関することと、市内の他の学校に関することは全く別ではないが、分けて考えていったほうがよいと思う。

授業の形態については、リモート等の有効活用は時代背景的に重要だと考えている。一方、直に触れ合いやりとりすることも人間にとって必要な部分だと思っているので、どちらかに偏った形というのは好ましくないと思っている。子ども達に、人間と人間の付き合いの仕方を鍛えてもらうことも必要だと思うし、両方大切なことだと思う。

・この再編計画について後手後手だと感じる。理由は以下の4点である。

- 1 市合併の際、浜岡中学校と学校組合御前崎中学校の2つがあり、既に問題であった。
- 2 東日本大震災の際、津波浸水区域内にある地頭方小学校のあり方については、牧之原市が検討するのは明らかであった。
- 3 浜岡中学校の建替えの際、学校組合、旧御前崎町の子ども達のあり方について検討できなかったのか。
- 4 牧之原市の再編計画ができたから、御前崎中学校のあり方を考えるというのはおかしいのではないか。
以上は意見で、質問としては、牧之原市は小中一貫教育を進めていくということだが、御前崎市はどうか。

- A 小中一貫校については、現状では考えていない。
理由は、4つ言われた中にもあったが、浜岡中学校はいわゆる中学校として存在している。これから小中一貫校や義務教育学校をつくるとなると、それに伴った建物が必要になる。言い方が難しいが、今となっては現実的に小中一貫校は難しいのではないかと思っている。選択肢としては、旧御前崎町側だけ、小中一貫校や義務教育学校にするというのにはあり得るかもしれないが、同じ市の中では現実無いかないと考える。

・小中一貫教育について、浜岡と御前崎それぞれであってもよいのではないか。

- A 小中一貫教育・義務教育学校のメリットももちろんある。ただし、牧之原市も1学年3クラスをめぐりに計画をしている。同じ学校中で、クラス替えの無い状態では、子ども達にとって大変であり、1学年1クラスで9年間一緒に過ごすとなると、いい面では関係が濃くなる一方、人間関係においてはその逆もある。どんな方法であっても、メリットデメリットがあり、総合的に検討していきたい。

教育委員会事務局に連絡をいただいた質問

・「学校再編計画」の策定にあたり、御前崎市のこれからの人づくり・学校づくりをどのようにしたいと考えているか。また、DX(デジタル変革)によりどのような授業風景になると想像しているか。

A 教育委員会では、『スクラムで取り組む「郷土を愛し、未来を創る人づくり」』を基本目標としている。基本方針は、「園・学校、家庭、地域などがスクラムを組んで協働することによって、思いやりがあって互いを認め合うことができ、たくましくしなやかな子供が育つこと」であり、市の特色を活かした教育や体験による愛郷心の育成を目指していきたいと考えている。

小学校については、学区の住民の方々と連携し、地域の人材を活かすとともに、学校支援ボランティアの御支援をいただきながら、地域に根付いた学校を目指す。学校規模の大小はあっても、その地域の特色が表れた教育を展開できればと思う。基礎学力を身につけることは勿論だが、読書や自然体験活動を大切にしたいと思う。

中学校については、高校等に進む前段階として、様々な学び（探究）、広い人間関係づくりの場となることを目指す。適正規模を確保し、専門教員を揃え、充実した教育施設の中で、基礎学力の定着、興味を持った分野での自主研究（ICT、図書館の活用）、できるだけ多くの仲間たちとの交流に励んでほしいと思っている。

次にDXによる授業風景だが、現在御前崎市ではGIGAスクール構想での1人1台端末が整いつつあるため、端末を利用した授業が進んでいる。今後は、ICT端末の整備やデジタル教科書等のAI教材の導入等により、個々の最適な学びを提供しながら、児童生徒一人ひとりに寄り添った授業、また他校の児童生徒や地域の人々とのオンラインによる学びの授業など、様々な形での授業になっていくと思われる。

ただし、児童生徒同士の直接の会話や討論は、子どもたちの人間的成長のために欠くことのできないものと認識している。ICTを活用していくことは必須だが、子ども同上、子どもと教員の生の関わりは大切にしたいと思う。

・ 当日配布資料(P16)の7月の「教育委員会」は教育委員のことで、8～10月の「教育委員会」は教育部のことか。計画素案を実際に策定するのはどこか。また、計画素

案を議会に報告する前に教育委員に報告する必要があるのではないか。

- A 前半の部分についてはご指摘のとおりであり、7月の「教育委員会」は教育委員のことで、8～10月の「教育委員会」は教育部（教育委員会事務局）のこと。

また、計画素案を議会に報告する前に教育委員に報告する件については、スケジュールには入っていないが、計画素案を議会に報告する前に教育委員に報告する予定。

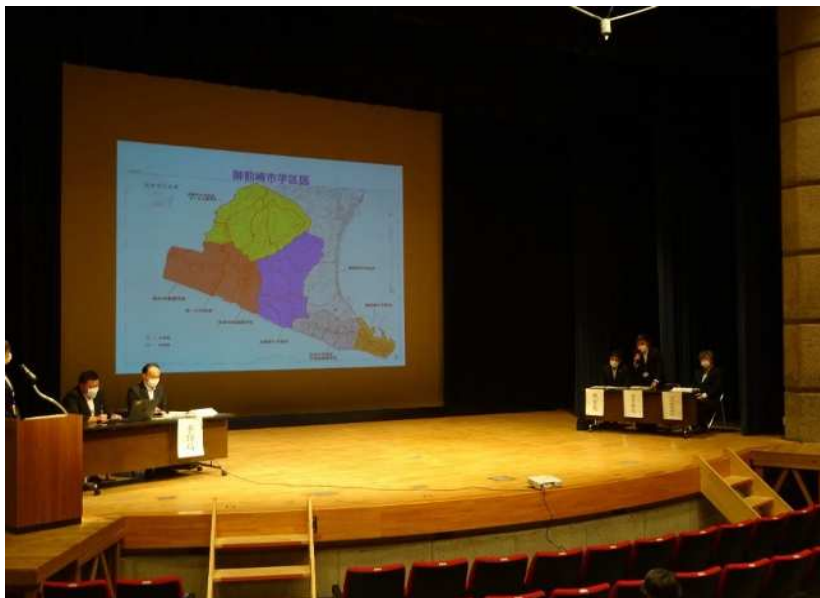
御前崎市学校再編についての広聴会

池新田地区センター





文化会館



御前崎の中学校の未来を一緒に考えよう！ 市民ワークショップ

令和4年11月26日（土）

御前崎市文化会館

19：00～21：00

参加者 19名



進行 一般財団法人CLIP

グループ内 自己紹介



教育総務課長 説明
現在と今後の中学校について



学校教育課長 説明
法律に基づく教職員の配置について

ワークショップ

「地域の中学生が大切にしたいものは」

付箋に書き出しA3用紙に張り出し共有



グループ発表 3グループ

- ・御前崎中学校が無くなるのはさみしい。
- ・小中一貫校の検討を望む。
- ・思った以上に人口の減少があることが分かった。
- ・大人の都合ではなく子どもの気持ち本意で考えて欲しい。
- ・私は年齢もいっているので通っていた中学校は現在は無い。確かにさみしい。
でも、無くなるのがさみしいという理由だけで絶対残してというのは違う気がする。
- ・御前崎白羽地区の文化というものもあり、それは大切にしたい。
- ・地域の人、力を活かしていこう。
- ・マリンスポーツ等、御前崎の特色を活かした学校づくりをして欲しい。
- ・例えば今の浜岡中学校の場所まで通うとして、通学バス等の対策は不可欠ではないか。
- ・ICTやデジタルワークは日々進んでいるため、今の学校の枠にとらわれない色々な学習環境のつくり方はあるのではないか。

ここでは書ききれない数々の意見が出ました。ありがとうございました。
今後の、市学校再編計画に反映させていきたいと思えます。



御前崎の中学校の未来を一緒に考えよう！ 市民ワークショップ

令和4年12月1日（木）

御前崎市文化会館

19：00～21：00

参加者 15名（中高生7名）



進行 一般財団法人CLIP



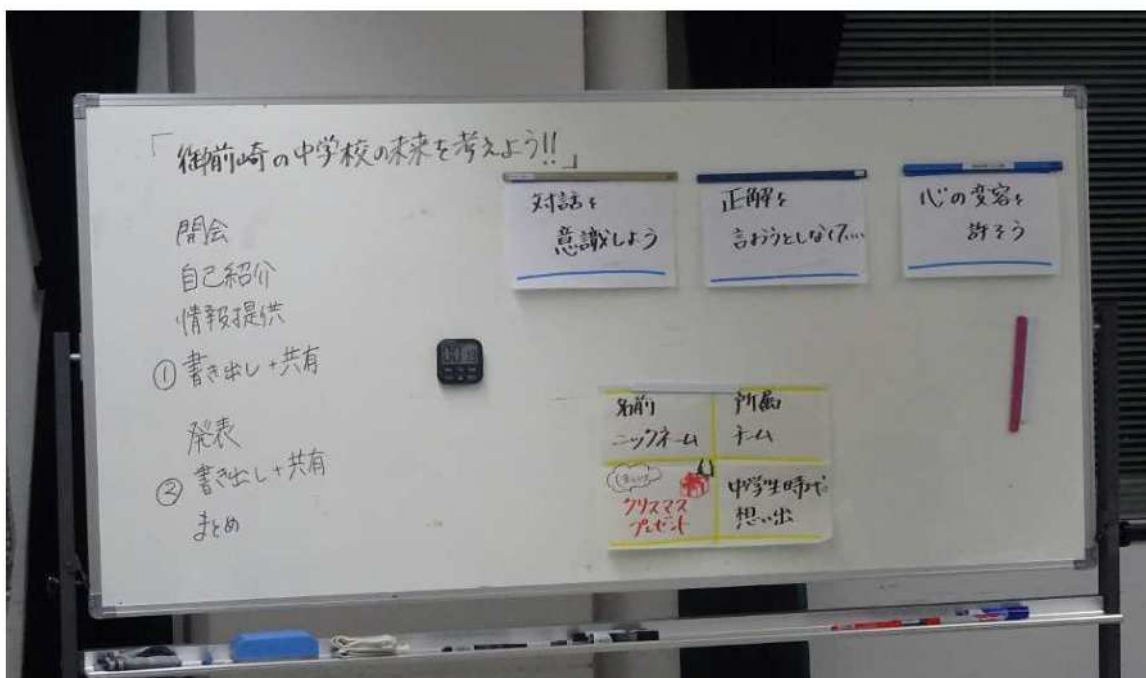
教育長あいさつ



教育総務課長 説明
現在と今後の中学校について



学校教育課長 説明
法律に基づく教職員の配置について



自己紹介

ワークショップ

「地域の中学生が大切にしたいものは」

付箋に書き出しA3用紙に張り出し共有



グループ発表 3グループ

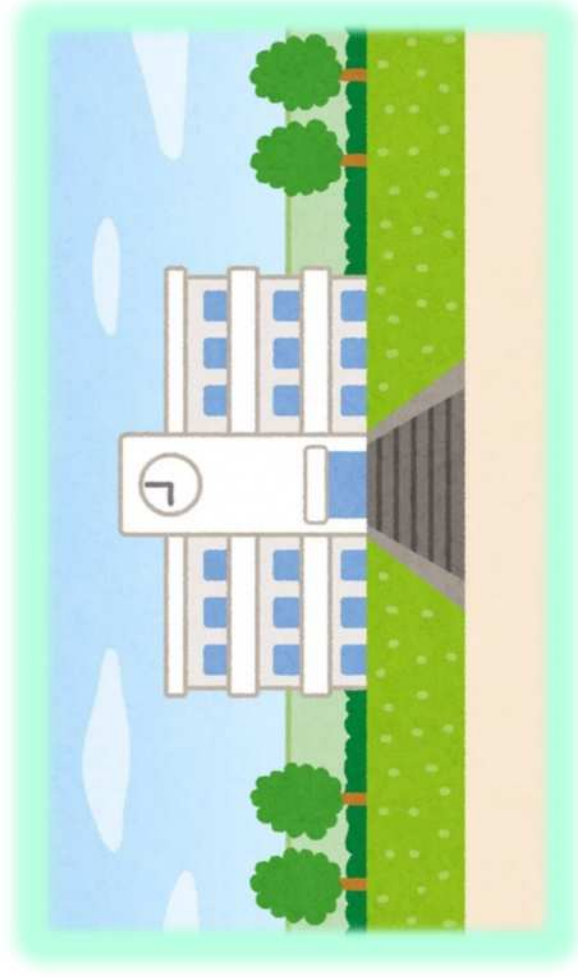
- ・将来教員になって御前崎に戻ってきたいと思っているが、こどもの減少により教員数の少ない学校になっていると大変だなと思った。
- ・人口が減っているのは分かっていたが、数値として改めて見ると、すごい数字だなと思った。
- ・単純に、今の御前崎中学校はどうなっちゃうのかなと不安に思う。
- ・全教科分の先生がいなくなると、大変なことだなと思う。
- ・人数減により、部活動も今のまま維持できないのではないかな。
- ・体育祭等学校行事も少人数により形を変えなければならないのでは。
- ・御前崎中のよいところ例えば「話し合いが多い」というようなよいところは残して欲しい。
- ・学校という場所の目的が、これから大きく変わっていくのではないかな（ICT等の普及）
- ・御前崎中の安心で安全「治安がよい」というところは守ってほしい。
- ・中高生がワクワクする居場所づくりは大切にしたい。
- ・これからは中高生も、早期に自ら稼ぐ時代だ！

その他数々の意見が出ました。ありがとうございました。

今後の、市学校再編計画に反映させていきたいと思います。



御前崎の中学校の未来を一緒に考えよう！



- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 自己紹介(グループ内)
- 4 情報提供
・現在と今後の中学校について
- 5 ワークショップ
- 6 まとめ、振り返り
- 7 教育部長から
- 8 閉会

令和4年

- ① 11月26日(土) ② 12月1日(木)
19:00～

御前崎市文化会館 2階大研修室

御前崎市教育委員会

問い合わせ先 御前崎市教育委員会事務局(教育総務課)
電話 0537-29-8733 / FAX 0537-29-8736
メールアドレス kyosomu@city.omaezaki.shizuoka.jp

本市の小中学校の課題

- 牧之原市の学校再編に伴う御前崎中の運営
- 児童生徒数の減少と学校施設の老朽化

☆市内小中学校の現状



ワークショップ
参加者みなさん
の気持ち

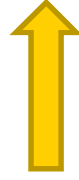
牧之原市の学校再編計画

『未来の子どもたちのための新しい学校づくり計画』より内容抜粋

再編する学校区

《現在》

- 相良中学校
- 相良小学校
- 萩間小学校
- 菅山小学校
- 地頭方小学校



《新》 1学年3学級以上の規模

(2030年度開校目標)

相良地域の義務教育学校
(小中一貫教育)

現在、御前崎中学校に通う地頭方地区の生徒は、
相良地域の義務教育学校に通う

- 榛原中学校
- 川崎小学校
- 勝間田小学校
- 細江小学校
- 坂部小学校



(2030年度開校目標)

榛原地域の義務教育学校
(小中一貫教育)

義務教育学校とは・・・小学校から中学校までの義務教育9年間
を一貫して行うことができる学校。

市内小中学校 学級数及び児童生徒数一覧表

(R4.5.1現在)

学校名	学級数 及び 児童数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	小計	特別 支援 学級	学級数 児童数 合計
第一小	学級数	3	3	3	3	3	3	18	9	27
	児童数	94	102	111	102	103	113	625	-	625
浜岡東小	学級数	2	2	2	2	2	2	12	3	15
	児童数	47	55	46	54	57	39	298	-	298
浜岡北小	学級数	1	1	1	1	1	1	6	2	8
	児童数	31	24	31	29	21	25	161	-	161
御前崎小	学級数	1	1	2	1	2	1	8	3	11
	児童数	29	25	39	31	37	35	196	-	196
白羽小	学級数	1	2	1	2	2	2	10	3	13
	児童数	25	44	31	40	41	61	242	-	242

〈学級規模の適正化〉
『公立小学校・中学校の適
正規模・適正配置等に関
する手引』(平成27年文部
科学省)
・法令上学校規模の標準
は、学級数により設定され
ている。
小・中学校ともに「12学級
以上18以下」
ただし、「特別の事情があ
るときはこの限りでない」
ともあり。

学校名	学級数 及び 生徒数	1年	2年	3年	小計	特別 支援 学級	学級数 生徒数 合計
浜岡中	学級数	5	5	5	15	5	20
	生徒数	182	184	180	546	-	546
御前崎中	学級数	3	4	4	11	2	13
	生徒数	103	121	124	348	-	348

小学校児童数の変遷及びその予測

	第一小	浜岡東小	浜岡北小	御前崎小	白羽小	合計
H17	761	364	256	315	394	2,090
H22	775	392	220	287	371	2,045
H26	670	330	190	255	320	1,765
H30	647	290	175	220	296	1,628
R4	625	298	161	196	242	1,522
R5	594	293	167	183	220	1,457
R6	573	275	168	172	224	1,412
R7	551	260	163	161	207	1,342
R8	517	256	151	135	200	1,259
R9	475	241	149	122	179	1,166
R10	467	233	133	107	167	1,107

中学校生徒数の変遷及びその予測

	浜岡中	御前崎中	(内、牧之原市)	合計
H17	700	535	(165)	1,235
H22	598	485	(142)	1,083
H26	653	461	(134)	1,114
H30	533	387	(112)	920
(2022) R4	546	348	(105)	894
R5	543	347	(91)	890
R6	540	338	(91)	878
R7	543	340	(95)	883
R8	554	317	(98)	871
R9	554	312	(102)	866
R10	541	289	(96)	830
R11	510	274	(87)	784
(2030) R12	470	188	(0)	658
R13	438	177	(0)	615
R14	416	148	(0)	564
R15	395	113	(0)	508
R16	395	97	(0)	492

通学状況について

通学方法とその割合

	第一小	浜岡東小	浜岡北小	御前崎小	白羽小	浜岡中	御前崎中
徒歩	92.8%	91.6%	72.7%	100%	100%	45.2%	23.3%
スクールバス	7.2% (定期バス含)	8.4%	27.3%	0%	0%	3.3%	0%
自転車	0%	0%	0%	0%	0%	51.5%	76.7%

学校施設の状況

小学校

学校名	建物と経過年数	備考	学校名	建物と経過年数	備考
第一小	南棟	★◆1999	御前崎小	西棟	★◆2013
	北棟			東棟	
	体育館			体育館	
浜岡東小	南棟	◆1995	白羽小	北棟	★◆2013
	北棟	◆1995		南棟	
	体育館			体育館	
浜岡北小	南棟	★◆1995			
	北棟	★◆1995			
	体育館				

★地震補強 ◆大規模改修

学校施設の状況

中学校

学校名	建物と経過年数	備考
浜岡中	校舎棟	1年
	体育館	37年 ◆2001
御前崎中	南棟	49年 ★1984
	北棟	49年 ★1984
	体育館	13年
	格技場	37年

★地震補強 ◆大規模改修

教職員の数の推移(見込み)

※学級数＝生徒総数÷35人

「公立義務教育諸学校の学級編成及び教職員定数の標準に関する法律」により積算

	年度	浜岡中	教職員数	御前崎中	教職員数
(2022)	R4	546	26	348	18
	R5	543	26	347	18
	R6	540	24	338	18
	R7	543	26	340	18
	R8	554	26	317	16
	R9	554	26	312	16
	R10	541	24	289	14
	R11	510	24	274	14
(2030)	R12	470	22	188	10
	R13	438	22	177	10
	R14	416	20	148	10
	R15	395	19	113	9
	R16	395	19	97	9

「教職員数」は、校長・教頭を含む。(養護教諭、事務職員を除く)